

合同教育研究会議（11月10日開催）議事概要

1 開催日時

令和3年11月10日 13時00分～14時00分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、
宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、
劉高等教育推進センター国際教育研究部長、福島看護学部長、
高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、
川崎盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）
長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長）

[事務局]

鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、北
島企画室長、高橋宮古事務局長、西川総務財務課長、八木主幹、渡部主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議10月13日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) 令和3年度全学FSDプログラム第2回高等教育セミナー実施要項
猪股高等教育企画部長から、資料に基づき説明があった。
- (2) 令和3年度国際交流推進委員会の取組実績について（中間報告）
石堂副学長から、資料に基づき説明があった。
- (3) 令和3年度岩手県立大学の就職内定状況（10月末現在）について
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
- (4) 令和4年度科学研究費助成事業の応募状況について
狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
学長から、継続と新規の件数を合わせてみると、頭打ちになっている、来年度から新たな対
策をするつもりである、との発言があった。
- (5) 2021年度APRIN eラーニングの履修状況について
狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(6) 認証評価受審に向けた「点検・評価報告書」の作成について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、大変な作業だと思うがよろしく願います、との発言があった。

(7) デジタルオープンキャンパス開催結果について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(8) 令和3年度広報研修会の開催について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(9) 令和4年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針

鈴木総務室長から、資料に基づき説明があった。

学長から、新しいことに取り組むのは難しいが、どのようにスクラップアンドビルドを行うか、知恵を働かせてほしい、との発言があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和3年度いわて創造学習Ⅰ・Ⅱ現地学習報告会

(2) 令和3年度後期「English Time」の開催について

(3) 令和4年度総合型選抜結果について

(4) 令和3年度第2回就職支援連絡調整会議の開催結果について（報告）

(5) 令和3年度公立大学学生大会（LINKtopos2021）の開催結果について（報告）

学長から、復興支援について、これまで学生が地元に対して色々な支援の取組をしてきたが、逆に、地元が主体となって、学生が脇を支えるようなことを考えていく、それを色々なコミュニティ作りに活かしていく、というような取組も行うべきではないか、先生方からも、アイデアがあればよろしく願いたい、との発言があった。

(6) 令和3年秋の叙勲受章について

その他

委員から、予算編成に関して、収入を上げるということが大学にとって重要であり、大学院生の確保について、外部評価に関わる部分でもあることから、より力を入れると良いのでは、また、寄附金の獲得について、地域の方々から大学に寄附したいと思ってもらえるような仕組みを作っていくことが大切なのは、との発言があった。

また、委員から、地域貢献に関して、組織評価の方法について、県民から直接評価を受ける仕組みがあると良い、定量的に評価できると本学をはじめ独立行政法人の価値が分かりやすくなる、この手法について知恵を出し合っていければと思う、との発言があった。